富士市共創創出プログラム

富士市産業イノベーション・チャレンジ

～地場企業 × 全国のスタートアップ 共創パートナー募集～

募集締切 12/15(火)

富士市の「リアルな現場・アセット」で、事業検証を加速させる。

実証フィールドがない
意思決定者と出会えない

そんな壁を打破する。

長年培った技術、工場・設備、広大な農地や配送網、福祉インフラを持つ富士市の優良企業が、自社アセットをオープンにし、本気で共創パートナーを求めています。
本プログラムは、事前の丁寧なヒアリングにより企業の強み・課題を可視化済み。1日集中型の現地フィールドワーク（現場視察）と対話で、高精度な共創・PoC（概念実証）を実現します。

参画メリット なぜ富士市なのか？

POINT 1 富士市主催の公的プロジェクトによる圧倒的な信頼性

富士市が本気でバックアップ。行政・地域金融（静岡銀行）・地元メディア（静岡新聞SBS）が三位一体で貴社の社会実装と広報・ブランディングを強力に伴走支援します。

POINT 2 事前ヒアリング済みの「意思決定者（経営層）」とダイレクト対話

全参画企業への事前ヒアリングにより、ニーズや開放アセットが明確化されています。お互いのミスマッチがなく、経営層と最短距離で事業化交渉が可能です。

POINT 3 現場を直接確認できる「1日集中型フィールドワーク」

2027年1月下旬、富士市へお越しいただき、工場・農地・福祉施設等の現場を直接視察します。リアルな環境で事業検証（PoC）のアイデアを深めることができます。

※昼食・交流会参加費代実費。現地までの交通費・宿泊費は各自負担。

プログラムの流れ

STEP 01 エントリー期間
2026年10月20日（火）～12月15日（火）
▶ WEBフォームより自社ソリューション・共創アイデアを提出

STEP 02 選考・マッチング結果発表
2026年12月下旬
▶ 富士市および選考委員会にてマッチング度を審査・選定

STEP 03 フィールドワーク＆交流会
2027年1月下旬（予定）
▶ 富士市現地にて地場企業訪問（現場視察）＆経営層との対話型交流会を開催
※1日で集中開催（5社程度への現場訪問を実施予定）

参画企業例 開放アセット・求めるスタートアップ領域

富士市の優良地場企業が持つ「リアルな現場・アセット」を活用できます！

	求める技術
① 物流・梱包アセット **富士木材（株）** 〈製造・段ボール・ロジスティクス等〉	●物流DX ●倉庫省人化 ●パレット・木材端材のアップサイクル技術
② 農業・アグリ・食アセット **YAMATARO F&C** 〈農業・アグリ・食〉	●スマート農業 ●FoodTech ●未利用資源を活用した新商品開発・マーケティング
③ 基幹地場産業・新素材 **イデシギョー（株）** 〈製紙・再生紙製造等〉	●CNF（セルロースナノファイバー）応用 ●製造工程の脱炭素・省エネ ●環境配慮型素材
④ 福祉・コミュニティ **（社福）誠信会** 〈子育て・介護・障害者支援・地域相談〉	●CareTech ●現場作業のデジタル化・ロボティクス ●地域課題解決型サービス
⑤ 化学・機能性材料 **飯田工業薬品（株）** 〈薬品・プラスチック原料・接着剤等〉	●バイオマスマテリアル ●新機能性材料の共同開発 ●サプライチェーン効率化

随時参加企業の情報を更新しております。
企業の詳細情報は特設WEBサイトをご確認ください。

募集要項＆お申し込み

【募集期間】2026年10月20日（火）～12月15日（火）23:59まで
【参加対象】富士市企業との共創に意欲的なスタートアップ（法人）
【参加費用】5,000円／1人（昼食・交流会参加費代として）
【採 択 数】15社程度（富士市による選定）

詳細・エントリーはこちら

主催：富士市　企画協力：静岡銀行
運営：静岡新聞社・静岡放送

特設WEBサイト（静岡ビジネスコンパス内） https://bc.at-s.com/kiji/fuji_company

お問い合わせ：富士市共創プログラム事務局（株式会社静岡新聞社 メディアXデザイン室内） E-mail：info@bc.at-s.com